

配水と給水の仕組み

配水ブロックシステム

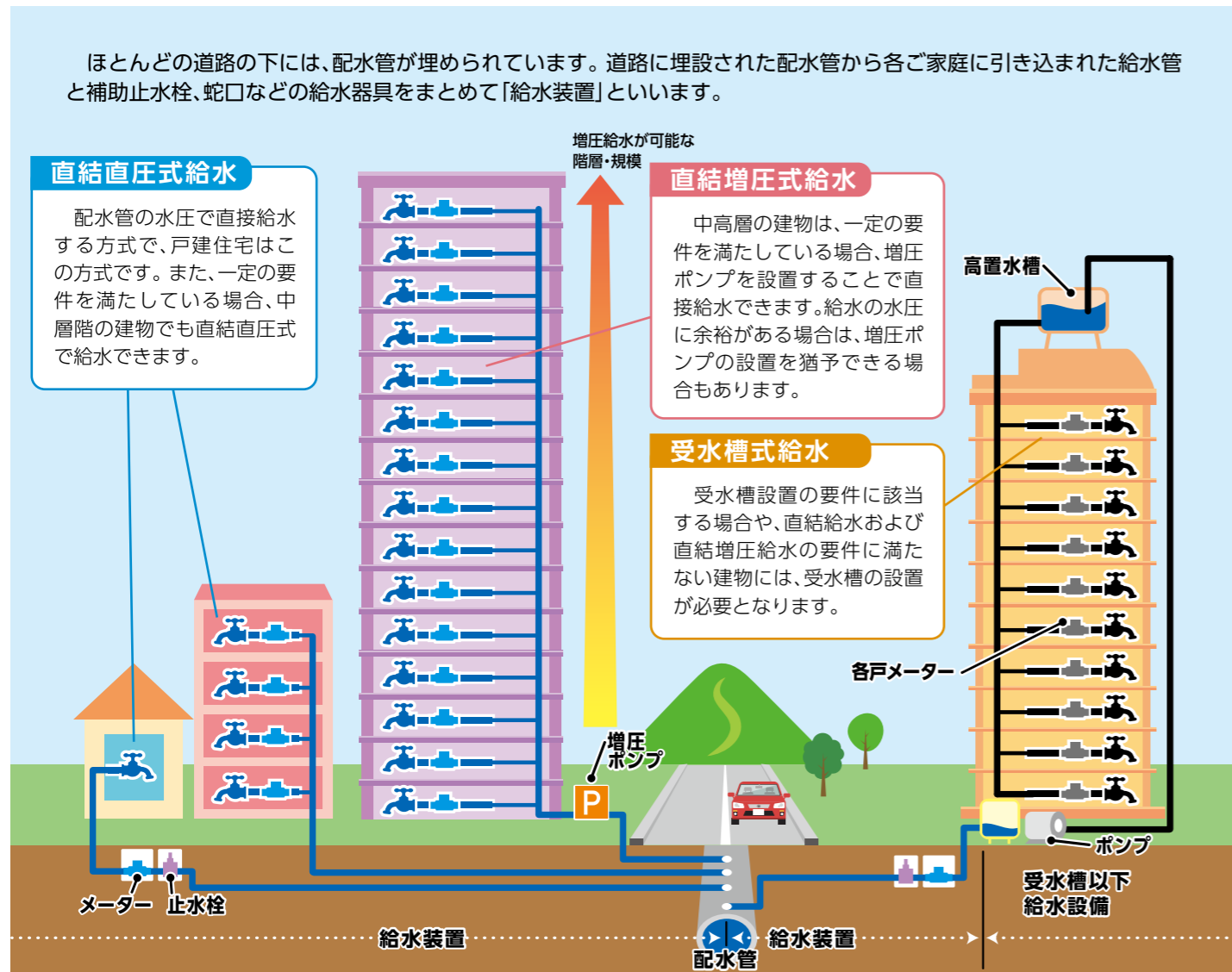
横浜市は、市域全体が起伏の多い丘陵地帯であると同時に、埋め立て地など標高が低い地域も多く、一定の圧力で市内全域に水を送るのは困難です。そのため、市内を25地区に分割した「配水ブロックシステム」を採用し、ご家庭に水をお届けしています。

配水ブロックシステムの利点

- 1 各地区内の水圧を平準化して、水圧不足や過大水圧を解消し、水圧管理を容易にします。
- 2 水圧や流量などの把握が容易になり、経済的かつ効率的に配水することができます。
- 3 大規模な漏水事故などが発生した場合も、断水などの影響範囲を最小限に抑え、早期に復旧できます。
- 4 事故発生時、他の地区から配水することができ、水の相互融通を可能にします。

給水装置

建物によって給水する方法が違います。

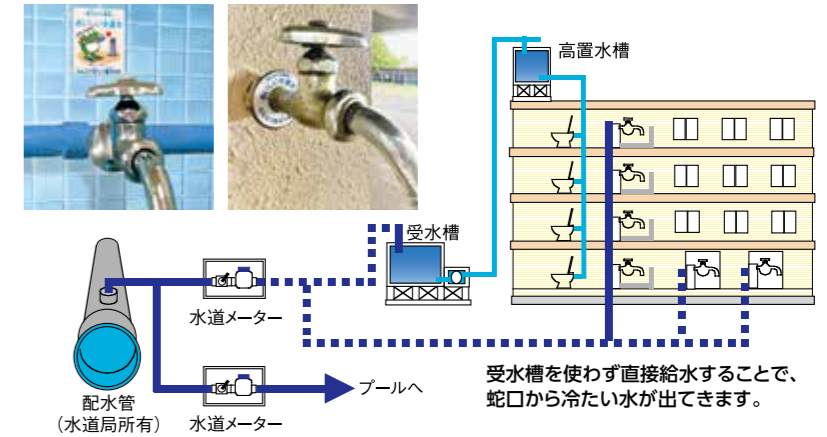


子どもたちが水道水を飲む文化を育む事業

学校の屋内水飲み場は、受水槽や高置水槽を経由して給水されています。これらの受水槽に溜まった水道水は、夏場を中心に、外気によって温められます。そのため、校舎にある蛇口から出る水道水をおいしくないと感じる子どもたちがいます。

そこで、受水槽を経由せず、配水管の水を直接蛇口から飲めるように、教育委員会と協力して直結給水に改良する工事を進めています。

工事が終わったら、蛇口に「はまピョン」シールを貼ります。直結給水は「はまピョン」シールが目印です！



水道利用加入金

水道利用加入金は、新・現水道利用者間の負担の公平を図る目的で、新たに水道を利用する皆さまに水道施設の拡充整備に要する費用の一部を負担していただくものです。

メーター口径	金額
13mm・20mm・25mm	165,000円※
40mm	1,402,500円
50mm	2,145,000円
75mm	5,115,000円
100mm	8,745,000円
150mm	19,800,000円
200mm	44,550,000円
250mm	79,200,000円
300mm	132,000,000円

※一般生活用戸建住宅および共同住宅は82,500円

地下漏水調査

水道局では、市内全域を対象とし、区ごとに巡回して地下漏水調査を実施しています。

調査は道路上で行い、漏水の疑いが確認された場合は、事前に宅地内への立ち入り許可を頂き、道路から宅地内の水道メーターまでの漏水音を確認します。

発見された漏水を修理することで、限りある水資源を有効に利用するとともに、道路が陥没するなどの事故を未然に防いでいます。



道路での漏水調査



地震に強い水道管への取り替え工事

水道管の耐震化

漏水や破裂などが発生するおそれがある古い水道管は、計画的に地震に強い水道管(耐震管)に取り替えています。

大規模な地震で断水してしまう原因の多くは、管と管の継ぎ目が外れてしまうことです。そこで管の材質が強くて、継ぎ目部分が外れにくい構造の水道管に順次取り替えていくことで、耐震性を高めています。

